平野ロジスティクス

製薬メーカーと直接契約

GDP準拠備え品質向上目指す

平野ロジスティクス（本社＝神戸市、田中英治社長）の関西支店は、フォワーダー、製薬メーカーと関係を深めることで、医薬品輸送を強化する。今春、関西の製薬メーカーと国内の医薬品輸送について直接契約を交わした。荷主からの要望にじかに対応することで、医薬品関連の習熟度が増し、フォワーダーへの対応力を向上。現在、医薬品輸送専用の大型温調車および4㌧温調車を活用して柔軟にニーズに対応している。医薬品の物流に関する基準「GDP」認証取得を意識した形でさらに品質を向上する構えだ。

平野ロジスティクス関西支店はりんくう国際物流センター（大阪府泉佐野市りんくう往来北）にオフィスを構える。航空会社やフォワーダーの空港間のOLT事業を主軸に、空港を拠点とした国内貨物の転送なども手掛ける。2015年11月には関西空港の第2国際貨物代理店ビルに拠点を確保。関空に到着する輸入貨物の通関後の一時留め置き、あるいは関空で搭載する輸出貨物の通関前の一時留め置きなどの機能を提供する。

関西支店では医薬品対応の温調車を顧客のニーズに合わせて運用している。エアサスペンションを装備しており精密機器の輸送にも対応できる。保冷機能とともに暖房機能を備え、季節を問わず医薬品の温度保持が可能なプラス5～25度までの温度帯を常に維持することができる。

17年上半期（1～6月）の医薬品関連における輸送実績は倍増しており、今後も旺盛な需要を見込む。日本でGDPが認証制度化された場合に備え、いち早く対応できるように独自作成した手順書などを用いて品質向上に努める。平野ロジスティクス関西支店の田中基康西日本担当営業部長兼関西支店支店長は「フォワーダー、荷主のニーズに対応するため、より緊密な関係構築が必要」と話す。

空港間の保税転送（OLT）は、航空会社から40社超、フォワーダーからは15社超を受託している。輸送量は前年比で1・5倍に増加しており、顧客のニーズに合わせた多彩な混載便貨物のアレンジが可能となった。

現在、関西支店ではOLT輸送で関連業者も含め、1日50便を超えている。関西―成田間では、96㌅仕様のULDを4台搭載できるセミ・トレーラー車「＋1」（プラス・ワン）を運用している。ULD需要は堅調であるが、今年に入り、関空―成田間ではルーズ貨物需要も増えている。現在、ルーズ貨物の搭載効率を向上、貨物ダメージを軽減し、安全搭載できる2段式車両を運用している。今後も需要動向を踏まえて、トラック・トレーラーの増車を進める計画だ。

平野ロジスティクスは、13年に西日本、神戸税関管内で初めてAEO制度の特定保税運送者の承認を取得。認定通関業者との連携の下で、特定通関申告制度を利用した高度なセキュリティーサービスを提供する。また、長年の実績とデータを照合することで、貨物量に合わせて顧客の上屋に適切な人材配置を行い、OLT貨物の集荷や医薬品貨物の集荷搬入に、迅速かつ正確に対応できるよう体制を整備している。

今後はより柔軟に対応するために陣容を強化する予定だ。今年、新たに5人が加わり、約50人体制となった。田中西日本地区担当営業部長は「当社は365日24時間体制で顧客に対応できるようにシフトを組んでいる。顧客にとり常に身近な運送業者を目指し、早いレスポンスで需要の掘り起こしにつなげたい」と力を込める。

平野ロジスティクス関西支店の田中基康西日本地区担当営業部長兼関西支店支店長㊧と西端純一所長

石井国交相が再任会見

「現場力で課題取り組む」

石井啓一国土交通相

第3次安倍第3次改造内閣で再任された石井啓一国土交通相は3日夜会見し、「真に豊かな国民生活を実現するべく、国土交通省の強みである現場力をしっかり生かし、その先頭に立って諸課題に取り組んでいきたい」と抱負を述べた。石井氏は2015年に初入閣し、国交相としての在任期間は約1年10カ月。

石井国交相は再任にあたって安倍晋三首相から、外国人観光客4000万人の目標実現を目指し、全国的な観光インフラの整備・強化を進めるよう指示を受けたことなどを明らかにした。ヒアリなどの特定外来生物の侵入・定着防止に向けた徹底的な調査・防除のほか、航空輸送の安全・安定の確保、インフラシステム輸出の体制強化、海上保安体制の強化などにも取り組むよう指示されたとした。

ANAグループ＜6月＞

国際貨物量12％増

ANAホールディングスが発表した6月のグループの貨物郵便輸送実績によると、国際貨物は前年同月比12・1％増の7万3287㌧で16カ月連続の前年超えだった。国際郵便は21・3％増の2530㌧で5カ月連続の前年超え。国内貨物は2・5％増の3万7121㌧で8カ月連続の前年超え、国内郵便は1・6％減の2727㌧で2カ月ぶりの前年割れだった。

4～6月の累計輸送実績は、国際貨物が前年同期比13・8％増の21万6202㌧、国際郵便が10・5％増の7236㌧、国内貨物が3・1％増の11万1142㌧、国内郵便が0・1％増の7876㌧。

アトランタに新施設を開業

デルタ航空

デルタ航空（DAL）は1日、アトランタに新施設「カーゴ・コントロール・センター」（Cargo Control

スイスポート・インターナショナル

シカゴ・オヘア空港に新上屋

シカゴ・オヘア空港の新上屋内部

スイスポート・インターナショナルはこのほど、シカゴ・オヘア空港の北貨物地区で新上屋を稼働した。総面積は13万8000平方ﾌｨｰﾄ（約1万2822平方ﾒｰﾄﾙ）

種（対応温度帯は
ス18～25度）を
（IATA）に
輸送の品質認証
アーマ」認証の基
同上屋に導入
は、10ﾌｨｰﾄ（約3ﾒｰﾄﾙ）
・デバイス（UL
に処理できる。
することなくオペ
を整えた。マテハ
まで伸びており、
の貨物引き渡しま
用することで一連
同上屋のトラッ
など機材オペレー
効率化も考慮して
っており、非常に